

子どもの頭部外傷について

- 子どもが頭を打った！ どうしよう、どうしたらいいの？



子どもの頭部外傷の特徴

- 頭が大きく転びやすい
- 遊びに夢中になりやすい



- 大人より視界が狭い

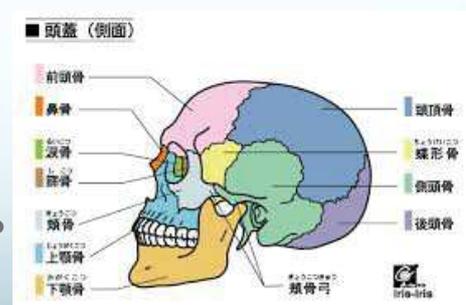


子どもの頭部外傷の特徴

- 頭蓋骨が薄く弾力性に富むため、ピンポン球が凹んだような陥没骨折になりやすい。



- 骨のつなぎ目がしっかり固まっていないため、つなぎ目が開く縫合開離骨折となる事がある。



外傷の原因は？

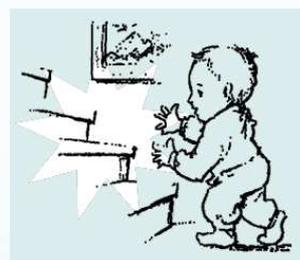
- **0～5ヶ月**

ベッド、ソファ、
ベビーベッドからの転落。



- **6ヶ月～4歳**

階段からの転落



- **5歳～9歳**

自転車、ブランコ、鉄棒、
滑り台、ジャングルジム



頭部打撲についての誤解 1

- たんこぶができたら安心。できなかったらアブナイ



衝撃が強ければ、たんこぶはできやすい。

たんこぶもないような打撲は心配ないことが多い。

頭部打撲についての誤解 2

- 血がでたら安心。出なかったらアブナイ



出血の有無とケガの重症度とはあまり関係なし。

頭部や顔面は血流が豊富なため、
小さな傷でも出血は多い。



頭部打撲についての誤解3

- 泣いたから安心。吐いたらアブナイ



頭を打って泣くのは当たり前的事。
泣かない程度の打撲は心配なし。
泣く事もできない程の重傷は病院へ。

子どもは敏感で打撲後に1-2回吐くことが多い。
何度も繰り返して吐いてぐったりしたらアブナイ

注意していたけど頭をぶつけた！

どうしよう



様子を見ても良いポイント

- 直後は激しく泣いたが、その後は遊び、食事（哺乳）が普段と変わりがない。
- 顔色や機嫌は悪くない
- 嘔吐や「けいれん」がない。1-2回吐いても、その後吐かなくなり元気である。
- 打った部分に凹みや出血がない。

様子を見ても良いポイント

- 1m以下の高さからの転落で顔色や機嫌は悪くない。
- いつぶつけたかわからないタンコブがあるが、普段とかわりなし。
- 頭痛を訴えない。乳児では不機嫌に泣き続けることがない。

**1-2時間様子を見て元気なら大丈夫！！
普段と違うようなら病院へ。**

早急に受診する必要がある場合

- 出血があり処置が必要そうなとき。
- けいれんが起きた、けいれんを繰り返す。
- 視線が合わない、あやしても反応がない、ウトウト眠りがちで目を覚まさない。
- 強い頭痛を訴え、嘔吐を繰り返す。
- 何となく様子がおかしく、普段と違う。
- 鼻や耳から血が混ざった透明な液が出ている。

